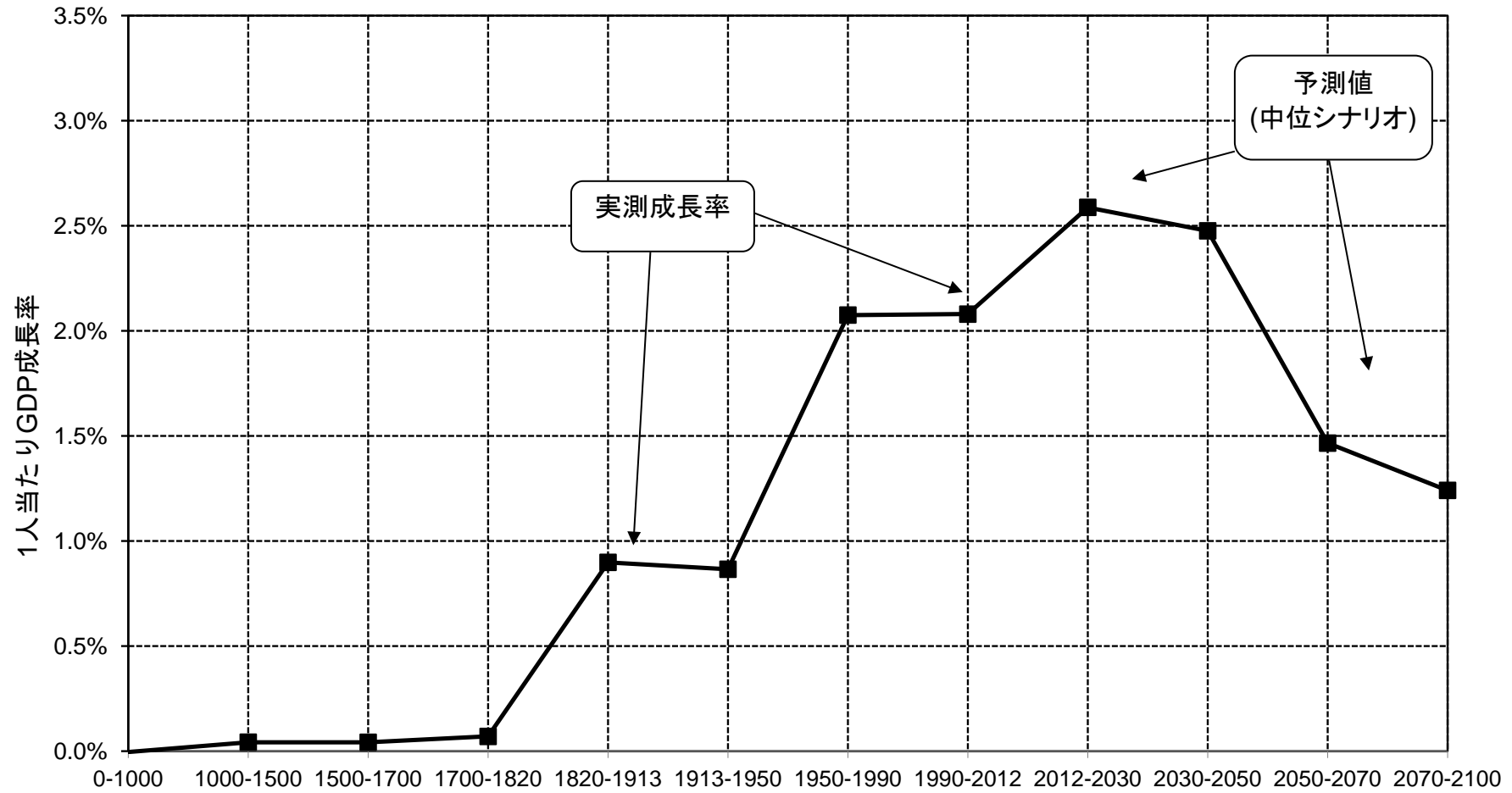


図 2.4. 世界一人当たりGDP増加率 太古から2100年



一人当たり産出増加率は1950-2012年には2パーセントを超えた。収斂プロセスが続くなら、2012-2050年には2.5パーセントを超え、その後1.5パーセント以下に下がるはずだ。

出所と時系列データ： <http://piketty.pse.ens.fr/capital21c> を参照。